

2004年6月28日

社団法人日本写真家協会会員・写真家

加藤雅昭 様

〒101-8001

東京都千代田区一ツ橋 2-3-1

株式会社 小学館

情報誌編集局チーフプロデューサー 岩本



拝復

この度『サライ』掲載写真および契約書等の問題につきまして、2004年5月26日付けの文書をいただきましたので、以下のとおり回答申し上げます。

4項目のご指摘をいただきましたが、経緯につきましては、異議は唱えません。

1. 「写真使用契約書」について

『サライ』編集長の指示により、加藤様に同契約書を提示いたしました際に、契約に関わる説明が十分でなかったことについて、お詫び申し上げます。なお、同契約書の内容にご同意いただけなかったため、この契約内容には、双方が一切拘束されていないことを確認いたします。

2. 「中部地方の制作プロダクションの写真使用」について

当時、写真使用権について編集部の認識が誤っておりました。『サライ』編集長の指示により、加藤様にご迷惑をおかけしましたことにつきましては、お詫び申し上げます。

なお、上記1.の契約書の内容にご同意いただけなかったため、この契約内容には、双方が一切拘束されていないことを確認いたします。

3. 「ポケットサライ『老舗ホテルの上手な使い方』」について

『サライ』に掲載された写真の再利用による刊行物の場合、口頭での了解を得た上での取り組みが慣行となっておりますが、編集業務を急ぐあまり出版契約書の提示が遅れてしまいました。その結果、手交が書籍発行後になってしまいましたことをお詫び申し上げます。

今後、手交の際は、実際に仕事に入る前、遅くとも企画内容の変更が可能な段階で契約書の提示を努めてまいります。

4. 「写真未返却」について

1. 2. のとおり、「写真使用契約書」に基づいた契約の合意は一切ありません。

『サライ』および『ポケットサライ』で使用いたしました加藤様撮影の写真の返却が大変遅くなり、ご迷惑をおかけしましたことをお詫び申し上げます。7月9日までに返却させていただきます。

また、『サライ』編集長の指示により、^②単行本の編集業務目的で作成したデジタル・画像データ約400点は、すみやかに削除いたします。さらに、SVDシステムの画像データに関しましてはデジタル化作業の内容を確認し、進行中の作業があれば中断し、すべてをシステム対象外といたします。

以上